

暁 星

第52号

6.2.29

発行

島根県立平田高等学校
暁 星 会

印刷

(有)西村印刷

勇気と情熱を持って
前に進もう



会長 山下 壮一

暁星会会員の皆様にか
かれましては、日々健
勝にてお過ごしのことと拝察致します。
平素より当会及び平田高校に対しま
して、格別のご支援とご協力を賜り衷
心より厚く御礼申し上げます。

今年度は暁星会新規会員として百四
十四名がご入会されました。在籍会員
一同、心からご入会を歓迎するととも
にお祝いを申しあげます。これからの
人生航路は、自らを信じて何事にもチャ
レンジをして
歩んで頂きた
いと思います。

平田高校は
開校以来百七
年を迎え、卒
業生は一万八
千五百人を数
えるに至りま
した。更なる



発展を期待し
てやみません。

さて、この

一年間も新型
コロナウイル
スの影響を受
け、会員の皆
様には多大の
ご迷惑をお掛
けしました。

大変に心苦しく思っています。平田高
等学校に於きましては学業やクラブ活
動に於いても大変な日々だったと思い
ます。

そのような中で令和五年三月に小林
努校長先生がご勇退をされ、ご後任に
同年四月に伊藤康子校長先生がご就任
をなさいました。ご就任以来ご熱心に
学校運営に取り組まれ、また暁星会や
後援会に付きましても色々とご協力を
頂いています。

四年間に及ぶコロナ禍で、体育部・
文化部共に制約される活動も有しまし
たが、開催された活動に於いてはそれ
ぞれに素晴らしい活躍を致しました。
それらの活動内容は別欄にてご報告を
しています。



昨年の九月二十四日に伊藤校長先生
と共に「東京平高会総会」に出席を致
しました。わずか半日の短い時間では
ありましたが、大島会長様を始め会員
皆様に心からのご歓待を受けながら楽
しいひと時を過ごさせて頂きました。
皆様の明るく、お元気なご様子に接し
大変に嬉しく思いました。平田高校や
故郷への変わらぬ愛情に対しても嬉し
さと感謝の気持ちで一杯でした。

また近畿地方に於かれましては、ご
在住の卒業生を始め平田地域及び島根
県ご出身の沢山の皆様方に毎年全国高
校駅伝競走大会に於いて、温かいご支
援をお寄せ頂き卒業生は元より、出場
選手達は「生涯の思い出」と感謝をし
ています。

近年の少子化による生徒数の減少は、
島根県に於いても公立高等学校の統廃
合が行われています。平田高校に於い
ては十年後の存続が懸念される状況で
す。

これらの問題は、暁星会及び後援会と
しても注視していかなければならない重要
な課題であると考えています。

「学校創立百十周年記念事業」も来年
度より準備を始めなければなりません。
皆様方の更なるご支援とご協力を賜り
ますよう宜しくお願い申し上げます。

結びに寄せ、暁星会会員ご一同様の
ご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上
げ、挨拶と致します。

Re ; START

校長 伊藤 康子



能登半島地震のニュース
とともに明けた2024年。

平田高校の生徒たちは、冬休み明け
すぐに、生徒会・JRC部を中心に、
校内や、近辺のスーパ・商業施設な
どの街頭に立ち、募金活動を行いました。
趣旨に賛同いただいた多くの地域
の方々に、たくさんご寄付いただきま
した。

これは、平田高校の生徒たちの姿の
一端です。やるべきことを見つけたら、
自分たちで動き、それを地域の方々に
支えていただく。地域協働学習もそう
ですし、各部活動もそうです。生徒た
ちの思い、行動力と、地域の大きな協
力体制。地域、暁星会の皆様に育てて
いただいている、と実感しています。

2023年度は、コロナ明け、とな
り、教育活動も制限なく、生徒たちの
活動も前向きに積極的に行われました。
各部活動の活躍は、後のページで一覧
になっています。全国大会出場も多く、
出場のための旅費予算が足りなくなる
くらいでした。(事務室で何とか調整し
ていただきました。)

2年生は、感染症対策のため取りや
めになっていた研修旅行が完全復活、
これまでの名古屋方面での旅行を見直
し、変更して、2泊3日で関西方面に
出かけました。全員参加のコースだけ

でなく、班ごとに自分たちで行先を設定して出かける日もあり、貴重な経験となりました。

生徒たちによる大きなイベント、鈴懸祭も、9月4日から3日間、入場制限もなくオープンに行われました。

テーマは「Re:STAR」。新しく学園祭を企画するという気概で生徒会を中心に計画しました。文化祭1日目は平田のプラタナスホールを借りての生徒会企画や文化部発表、1年生クラス合唱コンクールが催され、2日目は学校を会場に、クラス展示、クラス催し物、各文化部展示発表を行いました。文化祭では、コロナ感染症の拡大による学級閉鎖が2クラス、準備も整えていたところを悔しい思いをしました。

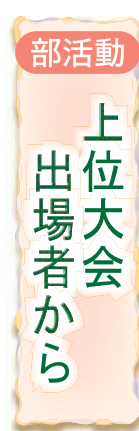
3日目の体育祭では、前夜からの豪雨による警報と避難勧告があり、1日延期とし、会場も出雲ドームから学校のグラウンドに変更しての実施となりました。ドームではない学校での体育祭は、実に9年ぶりでした。これらハプニングもありながら、準備の時間や計画の内容等、臨機応変に対応し、乗り越え、本当に平田高校の生徒が一つになって、素晴らしい学園祭となりました。

コロナ感染症によって、一度リセットされた形の教育活動でしたが、平高らしく、地域、暁星会の皆様とともに、Re:STARとするつもりで取り組んだ2023年度でした。

このたび百四十四名の卒業生が暁星

会の新会員として、皆様の仲間入りをさせていただきます。諸先輩方からご指導ご鞭撻を賜り、良好な人間関係を築き、今後は学校外から母校を支える、よきサポーターになってくれることを期待しております。

結びに、会員の皆様のますますのご健勝とご多幸をお祈りし、ご挨拶いたします。



柔道部

「私の高校生活」

柔道部 3年 中島千波

昨年3月全国柔道選手権大会で女子団体5位入賞し、これは平田高校初（島根県初）の成績でした。その結果の影響で自信が付き、チーム一人一人の志気が高くなったように感じました。

そして、4月からは新入生が加わり、県総体、そしてインターハイに気持ちを切り替え、再び日本一を目標に稽古に取り組みました。

インターハイ当日は、2年半の集大成ということもあり、心のどこかでプレッシャーを感じていました。もちろん、緊張感もあったし、わくわくした期待感もありました。結果はベスト8（5位入賞）

でした。やはり、全国はレベルが高かったです。私が特に印象に残っているのは、3回戦の試合です。その試合は勝敗が決まらず、延長戦になり心も体もヘトヘトでした。そんな時に監督席から、気合いが入った心強いアドバイスを頂き、絶対に勝つて終わりたいと思いながら戦いました。内容は僅差でしたが、勝てたことは嬉しかったです。

大会後、会場の外で家族や保護者の方々に「おめでとう」と声を掛けられて、たくさんの人に応援してもらえて、支えられていると実感しました。この3年間で培った力は、私の人生の糧になり、4月からの大学生活をより豊かにしてくれると思います。高校で結果が出せなかった分、ここまでお世話になった方へ恩を返す気持ちで、大学でも日本一を目標に生活します。



駅伝部

「全国高校駅伝での 学びを活かして」

駅伝部主将 富岡成望

「憧れ」の全国高校駅伝という舞台に平田高校駅伝部主将として出場させていただけたいと思います。今年の全国高校駅伝は、自身としては2回目の都大路という大舞台でした。ですが、県駅伝、山口で行われた中国高校駅伝に引き続き、故障のため出走は叶いませんでした。県駅伝ではベストオーダーが組めない中、仲間が諦めずに襷を繋ぎ切ってくれた。全国高校駅伝の出場権を手に入れてくれました。昨年からの今年の1区候補は私で、チームを引っ張っていく存在でなければなりません。しかし、故障続きで別メニューということで、多くの人に沢山の迷惑をかけました。県高校駅伝2週間前に出場した記録会では、チームのほとんどのメンバーのタイムが悪く、そんな時にもキャプテンとしてチームのために何もできず、本当に悔しかったです。どんなに嘆いても現実を受け止めるしかない日々は辛かったです。毎日チームメイトが練習している姿を見ては刺激をもらいながら、自分は何をしているんだろうと思うました。少し焦りもあり、無理をして余計に故障を長引かせてしまい、その時は申し訳なさが増して仲間に出るのが怖かったです。自分が何もできず、

足を引っ張っていただけであつたのにも関わらず、チームメイトは明るく引き受けてくれて本当に助けられました。そして、最高の仲間に出会ったというのを感じました。

中国高校駅伝から約1ヶ月後、全国高校駅伝が京都で開催されました。今年のチームは3年生が中国総体で引退し、1、2年生だけのチームでしたので、2年生が行動も競技も引っ張る必要があります。また、昨年までの3年間はアベック出場でしたので、いろんなことを女子と協力してやっていました。今年はアベック出場ができなかったもので、すべてのことを男子だけでやらなくてはいけないという自覚をキャプテンとして人一倍持つようにしました。コーチや先生に支えてもらい、だんだんと高い意識で行動できるようにになりました。一方で課題がかなり見つかりました。課題を改善するためには、まず一人一人が県の優勝校である自覚を持たなければならぬと思います。そうすれば全国の強豪校のように大人で無駄のない行動ができます。

今大会の結果は46位でした。選手7人だけでなく全員がこの結果を重く受け止めて反省します。今回力を発揮することはできたと思いますが、そもそもの走力が全国のレベルに達していません。来年まで365日を切ったので、1日1日の練習を大切に、誰も欠けることなく練習をします。私は選手の付き添いをしました。雰囲気や飲み込まれてしまったことが反省点です。そのほかのメンバーもそれぞれ

反省点がありました。ですが、沢山見て沢山のことを知り学べました。強豪校の挨拶や練習での動きなど、行動一つ一つを見ることができました。今回他に学んだことは、何か意識をしてそのことをするの、無意識でそのことをするのかの違いです。例えば、フォームを常に意識して走ることを継続すれば、1ヶ月後には無意識に走るのが大きな差が生まれます。常に全員がチームのためにということを考えて行動していきたいと思っています。全国高校駅伝出場にあたって、保護者さんをはじめとした本場に多くの方々に寄付や応援などの支援をしていただきました。このような支えなしではまずスターラインに立てなかったと思います。このような支援をしていただいていることに対して常に感謝の気持ちを持って過ごします。

今回の貴重な経験を活かし、来年またあの夢舞台でレベルアップした平田高校駅伝部がリベンジを果たせるように一から練習します。



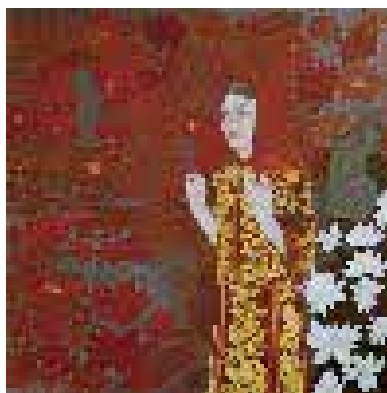
美術部

「全国大会に参加して」

美術部 3年 金山千沙子

私は、元々現代日本画が好きで、日本画風に書きたいと思って作品に取り組みました。院展の作品などを見て、研究しながら自分の絵に取り込んでいくのほとても楽しかったです。一生懸命描いた作品が評価されて、全国大会に選ばれたことがとても嬉しかったです。

去年の7月に行われた全国高等学校総合文化祭に参加し、全国大会に選ばれた作品を見て、圧倒されました。工芸から絵画までの幅広い作品があり、普段描かないような画風を見ることができた良い経験になりました。全国から集まった方たちと一緒にグループになり、起き上がり小法師を作る活動がありました。鹿児島で、起き上がり小法師は「オツのコンボ」



第47回全国高等学校総合文化祭 出品作品
出品生徒名 金山 千沙子
作品題名 花嫁の岐路

と言われている、大島紬という伝統的な織物を使って制作しました。貴重な体験を初めて出会った人たちとするのは、楽しかったです。グループになった方たちと一緒に作品を鑑賞する機会があり、作った作品が他の人から見えてどう思われる作品なのか新しい視点で考えることができたと思います。

美術部に入ったおかげで、自分が楽しいと思えることができとても良かったです。

吹奏楽部

「第33回 日本クラシック音楽コンクール (ピアノ部門 高校男子の部)」 に参加をして」

3年 片岡直幹

コンクールで10分にも満たない曲を演奏するために、日々の練習やレッスンで多くの時間を費やしても、本番で全ての力を出し切り、最高の演奏をするということは極めて難しいものです。過去に良い賞をとる事ばかりを考えてしまった時は、演奏が固くなってしまい、本来の自分を出せる力を精一杯出し切ることが出来なくなっていたように思います。私はいくつかの全国大会出場の際に、レベルの高い人たちの演奏を聴き、自分の音にしっかりと耳を傾け、自分の音楽を奏でることに集中している姿を見ました。

そこから、結果が全てではなく、いかに音楽を楽しめるかに意識を集中させることで、これまで練習してきた成果を出し切ることができる、という答えを見つけたことが出来た。昨年度は5位に入賞でき、今年度は入賞には至りませんでした。が、「楽しく演奏する」を第一に考えて演奏したので、一番納得できる演奏をすることができました。大会は結果で競うよりも、どれだけ楽しめたかを競う場であるということに気づくことができました。

また、この14年間という音楽生活は感謝がありません。このような貴重な経験ができたのは、応援してくださる方々のおかげです。支えてくれてる家族、熱心な指導をしてくださる先生、応援してくれる友人、様々な方の応援があつてこそ、全国大会という大舞台へ繋がりが、今の自分があると改めて感じ直すことが出来ました。感謝を忘れずに、これからも音楽を愛し続けていきたいです。

写真部

「全国高等学校総合文化祭に出場して」

高橋 唯



私は、今年の7月30日から8月1日まで開催された全国高校総合文化祭（かこしま大会）

に出場しました。

7月30日には、かこしま県民交流センターで開会式、講演会、交流会がありました。講演会の講師は三好和義さんでした。国内だけではなく国外でも大変有名な写真家で、南国で撮影された風景写真が強く印象に残りました。講演会では、風景を撮るときのコツを知ることができたことや、写真表現は演出表現であるといった話をされ、写真の奥深さを知ることができました。今では、このときの話は風景を撮影するときに参考にしています。交流会では、他県の出場者のみなさんと、持ち寄った自分たちの写真を交換したり、どんな写真を普段撮っているかといった話をしながら多くの人と交流をしました。7月31日は鹿児島市内で撮影会をしました。鹿児島県のシンボルである桜島や水族館で撮影をしました。水族館では、ガラスの映り込みをなくすために、黒い布を使ったりして、今回学んだテクニックを使って、たくさんさんの撮影を行いました。

今回全国大会に出場して、躍動感のある写真や透明感のある写真など、様々な写真に出会うことができ、確実に自分の視野が広がったと実感しました。また、構図の大切さや、構図のわずかな違いが、写真の印象を大きく変えることも学びました。自分の中の写真力がずいぶんと高まった充実した全国大会でした。

JRC部

「青少年赤十字国際交流事業に参加して」

樋野 菜々美

東京都の国立オリンピックセンターで11月に行われた青少年赤十字国際交流集会に島根県代表として参加しました。日本を含む10の国と地域から、日本メンバー39名、海外メンバー26名の計65名が集まりました。開催目的は「国際理解・親善の促進」と「持続可能な未来に向けた青少年赤十字活動を考える」の二点でした。フィールドワークの後、三井グループが提供する「サス学」を用いて気候変動と平和教育について考え、インプットタイムでは赤十字の考え方と取り組みに関する講義を受けました。中立の立場だからこそできる赤十字の支援について学ぶことができた。平和教育について、グループディスカッション後の発表は日本語5分、英語5分の計10分間。動画、劇、スライドなどを用いて行いました。最後のパーティーではダンス、歌、楽器など、他国の文化を実際に見ることで、その違いに触れ、違いを認めあうことができました。

海外の方との交流を通して、新たな価値観を得ることができました。特に、言語、年齢、性別は関係ないと感じた4日間でした。相手を理解したいという気

持ちがあれば、お互いを尊重できることを学びました。私たち一人ひとりが常に意識しなければならないことだと思えます。この交流集会を通しての気づきを今後のJRC活動にどのように活かしていけるかを考え、実行していきたいです。



進路の状況

進路概況(延べ数)

卒業年度		R2年度		R3年度		R4年度	
		現役生	過年度卒	現役生	過年度卒	現役生	過年度卒
入学者数	国立大	14	2	9	6	16	2
	公立大	30	3	20	2	23	1
	私立大	39	3	70	6	38	4
	文科省所管外の大学校					2	
	公立短大	8		8		1	
	私立短大	13		5		9	
	文科省所管外の短期大学校	4				1	
	看護学校	6		6		13	
	その他	19		15		21	
	計	133	8	133	14	124	7
就職者数	企業	1		3		2	
	公務員	5		4		5	
	計	6	0	7	0	7	0
未定卒業者数		16		8		2	
卒業生数		155	8	148	14	133	7

令和5年度部活動の成績

【体育系部活動】

中国大会予選

●バレー部

予選グループ戦 平田0－2松江南
平田2－1隠岐
1勝1敗 予選グループ敗退

●柔道部

【男子団体戦】 2位

【女子団体戦】 1位

【男子個人戦】

66kg級 熱田雄大 3位

73kg級 森山巨央 3位

90kg級 平川 心 3位

和田英大 3位

100kg級 青木魁士 3位

【女子個人戦】

48kg級 西藤心彩 3位

52kg級 三原真実 3位

57kg級 福田さくら 1位

63kg級 中島千波 1位

多久和柚香 3位

●卓球部

団体戦 女子団体 2回戦進出
(ベスト8)
(2回戦×0－3) 松江南高校

島根県総合体育大会(インターハイ予選)

●バレー部

1回戦 平田2－0隠岐島前
2回戦 平田0－2松江商業

●陸上競技部

【男子】

800m 栗原卓也 6位

1500m 石飛翔悟 3位

井戸琥太郎 4位

5000m 富岡成望 2位

長廻舜也 3位

福岡健太 6位

110mハードル 高橋快仁 2位

3000m障害 高橋宙暉 3位

三島琉正 6位

5000m競歩 岩崎輝翔 4位

三段跳び 永見侑大 1位

砲丸投げ 坂本琉太 4位

【女子】

100m 玉木麻裕 5位

200m 玉木麻裕 5位

800m 佐々木葉音 1位

森山紗仁美 2位

800m 多久和陽菜 3位

1500m 三代和果 3位

門脇 葵 6位

3000m 本田琴弓 優勝

嘉藤 杏 4位

門脇花音 6位

5000m競歩 小村実加 2位

4×100mリレー

三島実咲・玉木麻裕・伊藤綺華・

森本芙泉 4位

4×400mリレー

多久和陽菜・森山紗仁美・玉木麻裕・

佐々木葉音 2位

●剣道部

男子団体

平田高校 対 出雲西高校(0－5)

2回戦敗退

●卓球部

男子団体

1回戦敗退(×1－3明誠高校)

女子団体

2回戦進出(ベスト8)

(1回戦 津和野高校 ○3－1)

(2回戦 浜田高校 ×0－3)

●男子テニス部

団体戦

1回戦 平田 2－1 松江高専

2回戦 平田 0－2 松江北

ベスト8

個人シングルス

1回戦敗退 伊藤

2回戦敗退 後藤、飯塚、前田

個人ダブルス

1回戦敗退 原嶋大・大福

2回戦敗退 福田・中西

●男子バスケットボール部

1回戦敗退 平田 53対79 大社

●女子バスケットボール部

1回戦 平田 58対55 隠岐

2回戦 平田 35対92 松江商業

●柔道部

男子団体戦 2位

女子団体戦 1位

男子個人戦

73kg級 森山巨央 3位

90kg級 平川 心 2位

100kg級 中前 元 2位

女子個人戦

48kg級 西藤心彩 3位

52kg級 三原真実 2位

57kg級 福田さくら 1位

63kg級 中島千波 1位

63kg級 多久和柚香 3位

●サッカー部

1回戦 平田 0対7 開星

●水泳

男子個人メドレー200m 1位 大島史緒

男子個人メドレー400m 1位 大島史緒

女子自由形50m 2位 石原瑠華

3位 神田美季

女子自由形100m 3位 神田美季

女子自由形200m 1位 野田陽彩

女子自由形400m 1位 野田陽彩

女子背泳ぎ100m 1位 石原瑠華

女子平泳ぎ100m 1位 松本瑚々菜

3位 曾田早希

女子平泳ぎ200m 1位 松本瑚々菜

女子フリーリレー4×100m 1位

女子メドレーリレー4×100m 1位

県新人戦

●バレー部

予選リーグ 平田0－2江津
平田2－1横田

予選リーグ敗退

●柔道部

男子団体戦 2位

女子団体戦 2位

男子個人戦

60kg級 長野辰馬 3位

73kg級 森山巨央 3位

81kg級 中居研心 3位

90kg級 和田英大 3位

100kg級 中前 元 2位

女子個人戦

52kg級 西藤心彩 2位

57kg級 福田さくら 1位

県選手権大会

●柔道部

男子団体戦 2位

女子団体戦 1位

女子個人戦

52kg級 西藤心彩 1位

63kg級 福田さくら 1位

※女子団体と女子個人戦優勝者2名は、3月に日本武道館で行われる全国高校柔道選手権大会に出場します。

第39回島根県女子柔道選手権大会

女子個人戦 中島千波 1位

※中島は、3月3日に全日本女子柔道選手権大会中国地区予選会に出場します。

中国大会

●卓球部

女子団体

- 1 回戦 ○ 3 - 2 VS 祇園北高校
2 回戦 × 0 - 3 VS 萩光塩学院

●駅伝部

男子 (石飛・高橋・古藤・岩崎・岡・
行武・錦織)

2 時間 14 分 40 秒 14 位

女子 (本田・佐々木・嘉藤・多久和・
森山)

1 時間 13 分 56 秒 6 位

●柔道部

男子団体戦 3 位

女子個人戦

57kg 級 福田さくら 1 位

63kg 級 中島千波 2 位

全日本ジュニア柔道体重別選手権大会
中国地区予選会

女子個人戦

57kg 級 福田さくら 2 位

63kg 級 中島千波 1 位

※優勝・準優勝の女子 2 名は、9 月
に埼玉県で行われる全国大会に出
場。

全国大会

●駅伝部

令和 5 年度全国高等学校総合体育大会
陸上競技大会 (インターハイ 2023)

女子

800m 佐々木葉音 準決勝 2 組 8 位

3000m 本田琴弓 予選 3 組 12 位

男子第 74 回全国高等学校駅伝競走大会
46 位 (石飛・福岡・岩崎・古藤・

高橋・錦織・行武)

2 時間 16 分 28 秒

●柔道部

令和 4 年度全国高等学校柔道選手権大会
(令和 5 年 3 月開催)

女子団体戦 5 位入賞 (島根県勢初)

全国高等学校総合体育大会柔道競技大会
(インターハイ 2023)

57kg 級 福田さくら ベスト 16

63kg 級 中島千波 5 位入賞

その他大会

●野球部

春季野球大会

- 1 次予選 10 対 0 江津工業
(5 回コールド)

2 次予選 3 対 4 益田

第 105 回全国高等学校野球選手権島根大会
2 回戦 平田高校 9 - 3 飯南高校

3 回戦 平田高校 3 - 5 開星高校
島根県高等学校秋季野球大会一次予選

1 回戦 平田高校 6 - 8 松江商業高校

●駅伝部

島根県高等学校駅伝競走大会兼中国・全
国高等学校駅伝競走大会島根県予選会

男子 1 位 (福岡・錦織・石飛・古藤・
行武・勝部・高橋)

2 時間 18 分 32 秒

区間賞 2 区 錦織、3 区 石飛、

4 区 古藤、5 区 行武、

6 区 勝部

女子 2 位 (本田・佐々木・三代・嘉藤・
森山)

1 時間 15 分 39 秒

区間賞 3 区 三代、4 区 嘉藤

【文化系部活動】

●書道部

高文連書道コンクール

佳作 岡 百菜 加納 椰

西尾朱音 松浦ひまり

糸川理心

秀作 矢野響喜

●文芸図書部

島根県高文連文芸専門部文芸コンクール

詩部門 優秀作 1 位 田中悠真

優良作 山崎紗奈

岡元ゆう

野津咲月

俳句部門 優秀作 1 位

2 年 2 組 野津咲月

(令和 6 年度全国高等学校総合文化祭へ
の参加が決定)

優良作 田中悠真 小村唯斗

黒崎 優 伊藤紗奈 (2 作)

石川愛葉

佳作 山崎莉奈 山崎紗奈

森脇仁美 笹岡翔太

平井美桜 野津咲月

短歌部門 優良作 野津咲月

佳作 山崎紗奈

小説部門 佳作 森脇仁美

野津咲月

随筆部門 優秀作 2 位 岡元ゆう

文芸誌部門 優秀作 (全体の 2 位)

第 25 回高校生文芸道場中国ブロック大会

詩部門 優秀賞 野津咲月

短歌部門 入選 野津咲月

●吹奏楽部

全日本吹奏楽コンクール島根県大会

高等学校 A の部 銅賞

●美術部

高校生国際美術展

秀作賞 作品名『芽生え』松本結菜

全国高等学校総合文化祭 出品

作品名『花嫁の岐路』金山千沙子

●写真部

高文連写真専門部 春季写真コンクール

特選 金坂妃香里 安藤史織

伊藤理音 伊藤 凜

太田和可菜 清水 桂

岩成一樹 土江大輝

本田彩葉 江角美咲

全国高等学校総合文化祭 高橋 唯

高文連写真専門部 秋季写真コンクール

特選 金築佳穂 久家叶空

高橋昇大 井上結菜

伊藤理音 伊藤 凜

太田和可菜

高文連写真専門部 島根県高校写真展

1・2 年の部 3 席 伊藤 凜

(令和 6 年度全国高校総合文化祭推薦作品)

1・2 年の部 5 席 伊藤理音

(令和 6 年度全国高校総合文化祭推薦作品)

奨励賞 岩成一樹 本田彩葉

伊藤理音 伊藤 凜

高橋昇大 井上結菜

入選 清水 桂 土江大輝

本田彩葉 伊藤 凜

伊藤理音 太田和可菜

金坂妃香里 安藤史織

金築佳穂 久家叶空

●JRC部

樋野菜々美 島根県代表として

「令和 5 年度青少年赤十字インター
ナショナルミーティング Tokyo

2023」への出場権獲得

スポ G O M I 甲子園・島根県大会

5 位入賞 樋野菜々美・江角明香・

伊藤奏人

6 位入賞 西尾夏恋・高野綾香・

米山七智

●放送部

第 70 回 NHK 杯全国放送コンテスト

島根県大会

アナウンス部門

田中悠真 飯笹こころ 小村唯斗

三成優輝 決勝進出

ラジオドキュメント

「よりよい明日」優秀賞

全国大会出場 代表 飯笹こころ

テレビドキュメント

「授業をもっと変えていきませんか」

最優秀賞 全国大会出場

代表 小村唯斗

ラジオドキュメント部門・

テレビドキュメント部門

いずれも準々決勝敗退